

# 栄八通信

武雄市議会だより

(Web版) 始めました

http://ei-8.info/

第51号

H24年147(10)月発行



武雄市議会議員

宮本栄八

TEL・FAX 23-0750 携帯 090-5083-0793

## 図書館改修4億5千万に

びっくり

図書館問題の、最近の状況は7月の臨時議会で、CCC(ツタヤ)への民間委託が賛成多数で決定した。私は、開館時間延長や飲食の解禁は良いと思う。

しかし、入札による、業者の選定がされない事。また、内容については、「本の販売・CD・DVDの有料レンタル」は、民間活力と

いいながら民間業者を圧迫する事や、その為に、図書館のスペースが大幅に減少し図書館本来のゆとりとした、おちつき空間が確保できるかの心配。

だから、心配の払拭できない中の賛成はしない方針。

一方、7月に、業者は決定しているが、今9月議会では、図書館の改修内容とその予算についての議案が出された。

【改修の内容】 そのレイアウト図を見ると、市長の以前の話と違って、蘭学館や展示室などは、現状のままで残されていて、ひと安心。

市長が、入館者を少ないと指摘する蘭学館だが、私が蘭学館にこだわる理由は、そのメインの展示物である幕末の科学技術の先端である大砲で、旧武雄鍋島邸から発見し掘り出されたもので、その後、文化会館のロビーの足元に置かれるなど、長年、展示保管の場所を模索して来た事から。

話を元にもどすが、「20万冊展示」については、閉架書庫のかべを取るの中心で、そこには、2冊ある本やあまり貸出しのない本が置かれてあったので、その本をそのまま出すより、別の本に変えたがスペース活用になると考えられる。

## 【今後の課題】

一方、あと気になる点は、本の販売やDVDなどの有料レンタルに、私が民間との競合との心配を質問すると、市内の店舗には置いてないものを置くとの答えだが、本場に守れるのか？逆に採算がとれないに、市が赤字を負担する事にならないかの心配もある。

また、以前の図書館の今後の目標は、伊万里市の様な、車での移動図書館や、山内町・北方町の図書館分室の設置だったと思うがそれはどうなるのか？

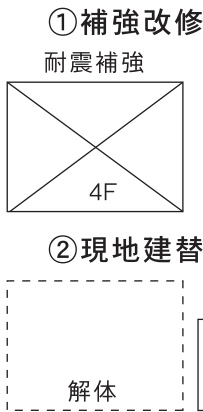
また、スターバックコーヒーの客が多く、駐車場不足をどう解決して行くのか？

また、これまで、現図書館で中心となって勤めていた係長が急に退職して、図書電子化するMY図書館はどうなるのか？

## 庁舎改築の その後の動き

7月6日に、議会の特別委員会に、2案が説明されたが、その後委員会が開かれていない。現在、

7月6日に、議会の特別委員会に、2案が説明されたが、その後委員会が開かれていない。現在、



## 【国保の収支の状況】

合併の翌年H19年に、約13%の保険料に値上げして収支均衡をはかった。これでしばらく行けると思ったが、なんと、H20年1.6億円、H22年1.4億円、H23年度に1.9億円程度の赤字を出し、H23年度末の累積赤字額が約4億円である。

その赤字の資金は、次年度から前借りする「繰上げ充用」という方法で対応している。

私の考えは、保険を使った人が負担すべきとの考えから、累積赤字を後にまわし、別の世代が負担するのは理不尽との考えをもつ。

今回の国保に対して、5千万円を一般会計から始めて繰入された。その原資は、H23年度の一般会計の残り約9億円から、地域福祉基金に、約1億円を入れ、そこからさらに、

市役所の東側(うら)の駐車場に、新築し、現本庁舎を解体する。この2案に共通するのは問題点は、駐車場不足で、現在324台で、そのうち162台は職員の駐車スペース、公用車74台で、来客用は88台しかない。そこに新幹線で80台分とられるので、近接する、開発エリアや中央公園の利用や、駐車場2層化、もしくは、市職員駐車場を別の場所や高架下などに変えるなどが必要と思われる。

一方、この2案や2月に出る、移転新築案でも、あてにするのが、約7割を国に交付してもらえらる合併特例債だが、新市建設計画では183億円の約12の86億円で活用を合意していた。

## 国保税12%の値上げと 一般会計からの補助

5000万円

### 【国保の収支の状況】

合併の翌年H19年に、約13%の保険料に値上げして収支均衡をはかった。これでしばらく行けると思ったが、なんと、H20年1.6億円、H22年1.4億円、H23年度に1.9億円程度の赤字を出し、H23年度末の累積赤字額が約4億円である。

その赤字の資金は、次年度から前借りする「繰上げ充用」という方法で対応している。

私の考えは、保険を使った人が負担すべきとの考えから、累積赤字を後にまわし、別の世代が負担するのは理不尽との考えをもつ。

今回の国保に対して、5千万円を一般会計から始めて繰入された。その原資は、H23年度の一般会計の残り約9億円から、地域福祉基金に、約1億円を入れ、そこからさらに、

市役所の東側(うら)の駐車場に、新築し、現本庁舎を解体する。この2案に共通するのは問題点は、駐車場不足で、現在324台で、そのうち162台は職員の駐車スペース、公用車74台で、来客用は88台しかない。そこに新幹線で80台分とられるので、近接する、開発エリアや中央公園の利用や、駐車場2層化、もしくは、市職員駐車場を別の場所や高架下などに変えるなどが必要と思われる。

一方、この2案や2月に出る、移転新築案でも、あてにするのが、約7割を国に交付してもらえらる合併特例債だが、新市建設計画では183億円の約12の86億円で活用を合意していた。

私は、市長が合併特例債活用と云っていたが、その残がなかったことは前回伝えた。今後の市の考え方としては、庁舎の方針が、決り、予算がある程度はつきりした時点で、新市建設計画の変更を議決して、特例債活用額の変更を国と協議する模様。

## 若木ソーラーと訂正

若木の本部ダムの残土処分地であった工業適地を土地開発公社より約1億3千万円で買いたいもどした事を前回通信で記述しました。

ただ、その時に敷地面積を、誤って書いたので、おわびと訂正をまずさせていただきます。

ちなみに、H20年に建設した白石町舎は、建物のみで約21億円なので、用地購入すれば30億円規模とも考えられる。特例債が変更で考えられる。また最近、特別債の期限が5年間延長されたので庁舎以外も事業費の増額を再考しては？



若木ソーラー用地

祝 武雄工業団地売却と今後

若木町の武雄工業団地がH22年の分譲開始から、22年かかって、ようやく売却した。ただ、市として、問題にならなかったのは、県営工業団地で、市に金利負担がなかった為ではないかと思う。

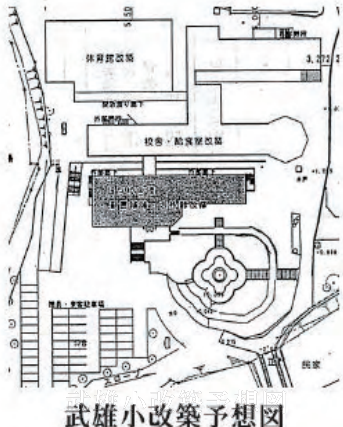
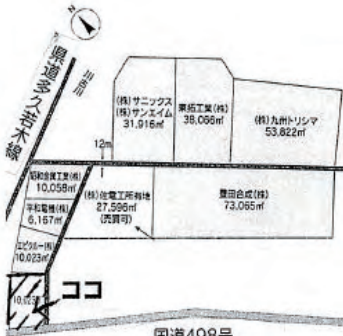
その面では、県に感謝したい。ただ、約23万5千㎡は、H9年までに売れていて、あと2万㎡が、売れず、新市になった。H19年にサムコの関連会社エビクルに12の1万㎡売り、最後の1万㎡を、今回タケツクス様の購入により完売。

今回、販売できた要因は、県土地開発公社が販売価格を今年3月に、土地鑑定を見直し、坪54、750円から、坪44、200円に見直した事や、県外企業誘致の原則から、雇用拡大が見込める、また逆に流出防止の観点から誘致に至ったと思われる。

このタケツクス様は、現在朝日町の中野に立地し、スピーカーなど音響機器は全国的に有名。今回会社見学をすると、主力は、防犯カメラやそれを録画するレコーダ―生産が中心との事だった。

また、タケツクスは、武雄と大楠からの造話との話。一方、国が公社は、H17年から、5年を過ぎた分譲地は、その後の金利や管理費を乗せての売却を認めない方針。その考え方をとれば、武雄北方インテール工業団地も5年内の販売を願う。

一方、市として、武雄工業団地の完売後の課題となるのが、工業用水問題で、現在給水できるのは、武雄工業団地のみで、他地区への販売ができない。1日、2325t能力をもち、契約は594tで、毎年約5千4百万円を一般会計で補充して、その解決が課題である。



武雄保育所と武雄小の動き

武雄保育所は、武雄小の、東側に隣接して、共に老朽化が進む。保育所については市長が、今年度中に、募集内容をまとめ、公募し、H27年の春には、民間業者が新築移転する方針を名言。

私も、この問題では、10年前の計画から進歩が遅いことを批判して、懲罰にかけられたと思ったが、結果、動いたのが良かったと思う。今から思えば、市が新築前に様子を見る理由に上げていた「子ども、子育て新システム」も、私が言ったとおり、あまり関係なかったのではないかと思う。

これで、市内の公立保育所はすべて民間委託される事になる。ただ、武雄保育所に、休日・病後時保育などの特別保育の機能をもたせるとの方針は変えず、その部分については、市としても人的財政的支援はするとの事。

武雄小

武雄小は、すでに、職員室などの管理棟は、大規模改修を終え、現在、グラウンドに仮設プレハブ校舎を建設し、9月より利用。

これから、教室棟を建設するが、また、気になる点が出て来た。この教室棟の東側は、運動場に向かって、六角形のテラス風に設計してあって、私はその図書室からぐるりが見える展望は、子供たちの思い出になるだろうと評価。

しかし、唯一デザイン性があると思われる、この六角テラスが、急にただの四角に変更された。その理由は、管理が大変だからと言いますが、東京駅ではないが、少しは建物に個性をもたせるのも、広い意味での教育ではないかと思う。

領土問題とオルレ事業

オルレと聞いても、市民の方々の多くは、内容が分らないと思う。簡単に説明すると、韓国の済州島(チェジュ)のNPOと行政が韓国本土からの観光客の誘致の為に、健康を目的とした街あるきツアーを開発し、6年ぐらい前から進め、現在は24コースあり、中心のクラブハウスなどは行政が整備するなど盛んになっているという。

一方、JRや九州各県が出資した、九州観光推進機構が、それを九州で取り組んだのが、今回の奥豊後・上天草・指宿・武雄の4地区。武雄市としては、コースを決定し、チェジュオルレ協会の認定してもらおうのだが、見どころなど審査がきびしいという。

昨年の11月に、準備に入り今年3月から開始、武雄温泉↑保養村まで、行き帰りは別コースにしないといけない。また道しるべの馬の置物・人形矢じりし・青赤リボン、公式グッズで、オルレ協会から提供(有料)される。だから色づかいが日本と少し違う。

『長寿命化計画』とは何だ!

直接的に、市民に関係が少ないせいか、マスコミにも取り上げられないが、重要な制度と私が思うのがこの、国交省が打ち出した、長寿命計画である。これは、「公営住宅長寿命化計画」と、「橋梁長寿命化計画」の2つがある。

どちらも共通する点は、H25年度までに、改築や改修計画を具体的に、年次や改修方法、財政計画を明示しなければならない。また、その計画を策定しなくては、H26年度以降は改修時の約12の交付金が受けられない。私も最近、県営住宅の改修状況を県に尋ねた時に、教えてもらってびっくりした。特に、武雄市は、旧市町から引き継ぐ、老朽化した、公営住宅が多い、約500戸程度で、利用しない市民には、関心が少ないのは当然だが、行政としては、市営住宅として、720戸を保有すると決めているので、改築改修に市費を投入しなければならない。単純計算すると、現在、武雄町で改築の進む和田住宅(鉄骨4階建)は、戸当り、1300万円かかって

Table with 2 columns: S30年代, S40年代. Rows: 山内, 北方, 武雄, 朝日.

人物で、政治家を同行して行くこと、今後の誘致活動に支障が出る心配から。現在も民間会社同志は良好と言うが武雄コースでも、団体客は減少しているようだ。私は、国の政治家は別としても地方の行政や政治家は、仲良く交流しても良いと思っている。



オルレの道案内「馬」鉄製

あき家条例の効果は?

近年、後継ぎがなく空き家が多くなって来ている。特に老朽化で見る所が、また危険なものもある。それらは、他市も同じ状況で、今回、梓藤地区及び伊万里市の担当者が集まって内容の統一をはかり、各市で条例化された。

具体的には、まずスタートとして「危険な空き家」を市民や区などから市に苦情や相談があつてから、市が実地調査をし、危険性の判断。あとは、所有者の資金力によつて2つに分れる。

①資金有りは、指導から、従わなければ、最後は行政代執行し、解体金を請求する。②資金無し(非課税)の場合、解体費の1/2を補助する。それでもできない時は、土地付きで、しかも地区の住民が利用管理する場合は市が土地の寄付を受け解体する。ただ、それ以外については、審議会での対応を決める。審議会での対応を決める。審議会での対応を決める。審議会での対応を決める。

武雄温泉楼門

今、東京駅の修復が話題となっているが、明治の創建時の設計は唐津市出身の辰野金吾博士であるが、武雄温泉楼門も大正時代の、辰野氏の設計である。

一方、武雄市は、同氏の設計を縁として、奈良ホテルのある奈良市と共同キャンペーンをしている。武雄市は、宣伝は良いが受け入れ体制は不十分な事が多い。そこで改めて温泉楼門を見て、いたんでることを知った。

一般質問で、市の対応を尋ねると、すでに所有者である温泉会社から数年前に改修計画が出されているが、文科省の予算が付かない状況との答弁。聞く所によると、近年の大雨や東日本震災の影響もあるらしい。

ただ私の質問した、日に急に文化庁から、内定が来て、来年度の予算化でなく、なんと今年度事業として、採択されたと言う。ただ残り半年では工事は不可能な為に2年間の継続事業で行なう予定。

古くなった、建具や劣化した木部の交換。中心は、外部塗り替えであるが、これが、ただのペンキではいけない。丹塗(にぬり)鉛入りの古来の塗料で修復予定。私の子供の頃、一度、普通のペンキで塗装された事があって、色が変だと話題になった。

